



学校だより

令和4年10月31日
横浜市立上白根小学校
【11月号】



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>



「学校の外での学び」

副校長 内 和俊

秋深まり、日中はとても過ごしやすくなりました。その分、朝・夕は大分気温が低くなり、もうそこまで冬が近づいてきているのがわかります。10月は、6年生の日光修学旅行を皮切りに、1年生のズーラシア遠足、2年生の八景島シーパラダイス遠足、4年生の小田原校外学習、5年生の柴漁港見学と、校外での学習が立て続けに行われました。(3年生は12月に予定されているので、もう少し待っていてください。)どの学年も天気にも恵まれ、とても充実した活動ができました。また、芸術の秋らしく、本校のハーモニーフレンズ(4～6年の希望者による合唱クラブ)が地域のイベントで発表したり、4年生が区の音楽会で発表したりと、これまでの練習の成果を発揮することができました。スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋といわれますが、皆さんはどのように秋を過ごされていますでしょうか?

さて、本校では、10月7日に前期終業式を行い、11日に後期始業式を行いました。式では、代表の児童が、前期を振り返り後期の目標を発表しましたが、各クラスでも一人ひとりが担任から配られたあゆみとともに前期を振り返り、新しい目標を立てて後期をスタートさせています。上白根小学校の今年度のテーマは「失敗を恐れず、挑戦する子」です。6年生は中学校に向けて、1～5年生は次の学年への進級に向けて、子どもの挑戦を応援し、後半の学習をさらに充実したものにしていきたいと思いをします。

そこで、前述にもありますが、本校では10月にたくさんの校外学習を行いました。遠足や校外学習は、学校で学んだものを外の社会で生かす絶好の機会です。実際に目にしたり働く人にふれたりして、新たな発見や感動が生まれるかもしれませんし、これからの学習のヒントや生きるために何か役立つものが得られるかもしれません。また、個人だけでなく集団での活動になるので、クラスやグループの仲間と過ごす中で、課題が出てきて悩んだり、お互いに協力して乗り越えたりすることも大事な経験です。学校で学ぶことはもちろん大切ですが、百聞は一見に如かずのことわざにもあるように、実際に外に出て自分の目で見て体験することもとても大切です。これから後期の学習が始まりますが、多くの学年で生活科や総合の時間を中心に、地域に出たり、地域で働く人と触れ合ったりする活動を計画しています。ときには難しい課題に直面することもあると思いますが、子どもの背中を押し、あきらめず挑戦し続けられるよう子どもたちをサポートしていきたいと思いをします。後期もよろしくお願いをします。